

「広島県の園医・嘱託医に関するアンケート調査」について

広島県医師会学校医部会

園医・嘱託医委員会委員長 永田 忠

広島県医師会学校医部会では、平成24年9月に園医・嘱託医小委員会を立ち上げ、広島県内の保育園、幼稚園の園医・嘱託医の現状を把握し、今後、広島県内の園医・嘱託医が情報を共有し、できるだけ共通した認識がもてるような方策を構築していくため、小委員会を平成24年12月、平成25年3月に開催しました。そこでまず、県内における園医・嘱託医の現状を把握し、今後の検討課題を見つけ、それを解決していく方策を検討していく目的で、広島県内の園医・嘱託医にアンケート調査をすることになりました。

平成25年5月に各市郡地区医師会所属で広島県医師会において把握できている名簿を参考としてアンケート調査を実施し、集計しましたのでその概略を報告します。

アンケート調査の詳細は紙面の都合上別の機会に譲りますが、下記のような内容を質問しました。

1. 所属医師会 2. 年齢・性別 3. 主たる専門診療科 4. 園医・嘱託医任用時の所属医師会の関与 5. 嘱託されている園の数 6. 最も長い嘱託医の経験年数 7. 最も出務回数の多い園での健診の年間出務回数 8. 健診以外の年間出務回数 9. 健診にあたる時間帯

そのほか、紙面の都合で詳細は記載できませんが、健診以外での活動などに関しても質問しました。

アンケート用紙は、広島県内で把握できている園医・嘱託医515名に平成25年5月に配布、308名から回答があり、回収率は59.8%でした。

所属医師会は、山県郡を除きすべての医師会を網羅しました。

年齢では、50代・60代で66.5%を占めており、これはどの医師会でも同様の傾向がみられました。性別は、男性が83.8%、女性が15.9%でした。

主たる専門診療科では、内科が46.1%、小児科が26.9%、そのほか、外科、整形外科、産婦人科などの専門科もありました。眼科が10.4%、耳鼻咽喉科が11.7%を占めていましたが、文部科学省管轄の幼稚園の関係と考えられます。市郡地区医師会別でみますと、広島市医師会・福山市医師会・尾道市医師会・三原市医師会・大竹市医師会・安芸地区医師会・佐伯地区医師会・世羅郡医師会・松永沼隈地区医師会では、内科と小児科がほぼ同数でしたが、それ以外では内科が多くを占めていました。

嘱託医任用時の手続きに関しては、公立保育園・幼稚園では多数の園で医師会が関与し、一方、私立保育園・幼稚園では逆に、多数の園から直接依頼されている傾向がみられました。

嘱託医を引き受けている園の数では、多くが1施設でしたが、公立保育園を6施設引き受けているケースもありました。

嘱託医の経験年数は、5年以上で約85%を占めていました。30年以上は約15%強あり、経験年数の長いケースが多くみられました。中には40年、45年以上のケースもみられています。

健診の出務回数では、保育園が64.5%で2回、13.6%で4回、中には12回・16回と回答されているケースもありました。幼稚園では、64.4%が1回、27.7%が2回と回答され、中には9回と回答されているケースもありました。保育園と幼稚園の出務回数の違いは、法律の違いによるものです。

健診以外の出務に関して、保育園・幼稚園併せて65.3%が0回でしたが、中には9回と回答されているケースが14.0%ありました。

健診の時間帯では、午後と回答されているケースが90.9%と最も多くみられました。健診対応時間帯に関しては、休憩時間が61.0%と最も多く、次いで休診日が22.7%でした。

そのほか、園における活動内容や、対応内容、食物アレルギー対応などに関しても質問していますが、別の機会に報告させていただく予定です。

今回は、アンケート調査集計の概略を速報として報告させていただきました。アンケート調査集計から、人口の多い医師会と少ない医師会における課題、園医・嘱託医の年齢、活動に関する事など、いろいろ課題が浮上しています。今後、このアンケート調査結果をしっかりと検討し、広島県医師会として可能な方策を立てていく必要があります。

アンケート調査にご協力いただきました市郡地区医師会所属の園医・嘱託医の先生方、アンケート調査ならびに集計をしていただきました広島県医師会事務局の方々に深謝いたします。